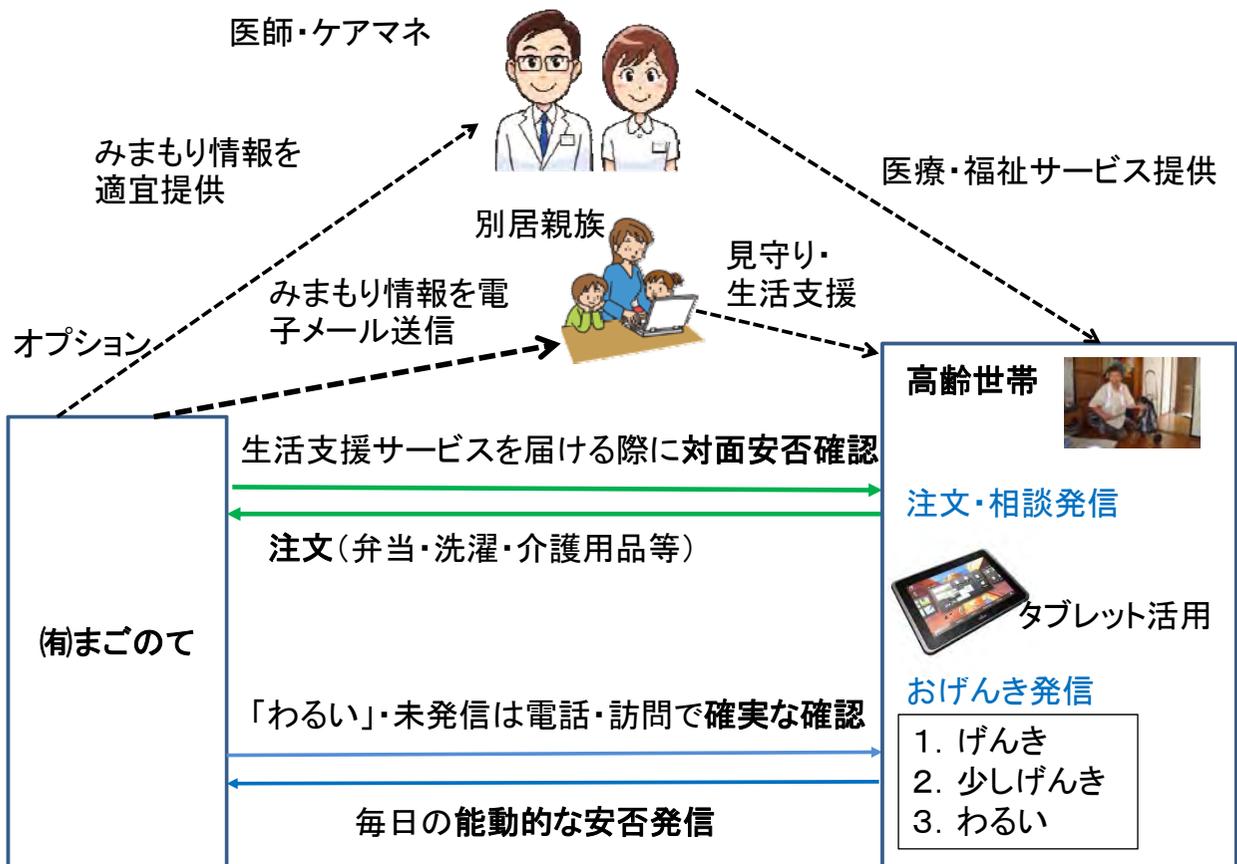


## おうちでまごのて 見守り



35

## システム構成

### 施設管理者向けWEB管理画面



### 配達員向け登録画面



### 高齢者向けアプリ画面



77

36

## 画面イメージ(トップ画面)

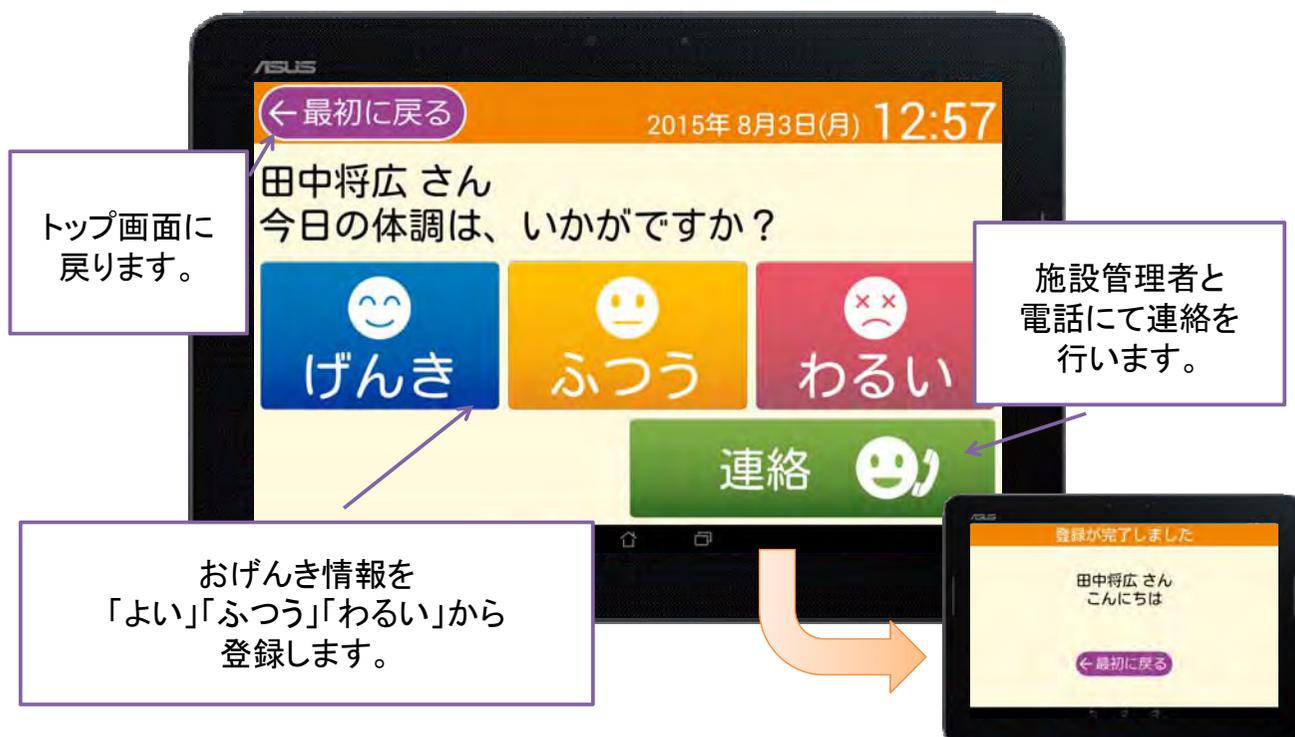
### ●トップ画面



37

## 画面イメージ(おげんき登録)

### ●おげんき登録画面



78

38

## 画面イメージ(注文画面)

### ●注文画面



39

## 消費者被害防止

- 「おげんき発信」利用者は、見守りセンター（市町村社会福祉協議会）が、不審な業者からの対応等について相談機能をはたしている
- 民生委員や近隣の見守り者は、継続的な関わりから、身体的な異変だけでなく、生活上の異変にも気づくことが多い
- 福祉的な見守りセンター・見守り者と、消費者被害を防ぐための専門相談機関が連携することにより、重層的な見守りが可能になる

# 「住み慣れた地域で最後まで過ごす」 ためには

- 入院・施設入所＝「居住」と「ケア」がパッケージになっている  
⇒ナースコールと心電図等で異変把握とサービス調整が可能
- 地域居住＝「居住」と「ケア」の機能が分離  
⇒ニーズを把握と、ニーズの変化にあわせたサービスの調整が必要
  - ① 確実な異変把握
  - ② 地域の互助機能の組織化
  - ③ 福祉・医療のネットワーク化

「見守り」⇒「看取り」

41

見守られ上手は、長寿の秘訣。  
見守り上手がいるまちは、住みやすい。



御静聴に感謝申し上げます。